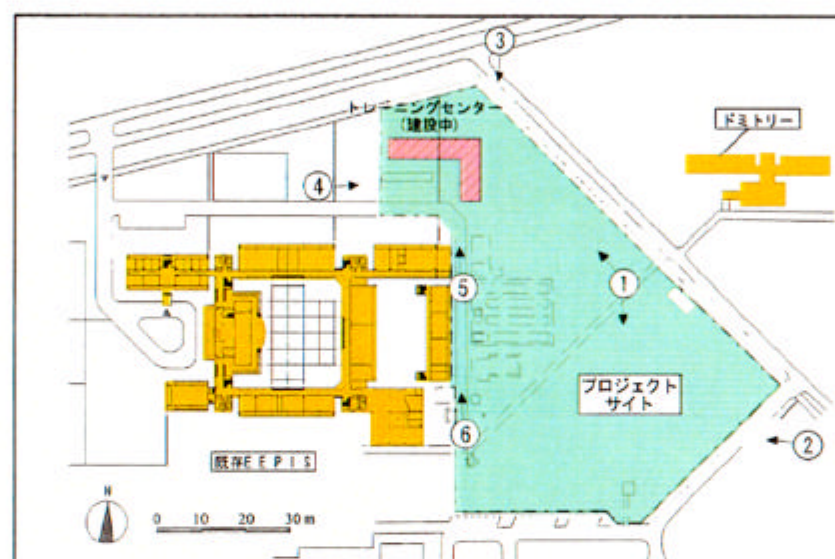




①東側から見たプロジェクトサイト。正面に見える建物群は、1988年にJICA無償資金協力により設立された既存EEPIS。プロジェクトサイトは元々は湿地帯のため、新設建物においては地盤の問題及び洪水対策を考慮した設計としている。



②東側から見たプロジェクトサイト。計画地後方の建物群が既存EEPIS、左側の建物群は造船ポリテクニク。周辺は緑が多く勉学に適した環境となっている。



EEPIS キャンパス現況図



③写真中央は既存EEPISの施設群で、その左側(東側)が本件のプロジェクトサイトとなる。既存EEPISの北側は、道路をはさんで住宅地となっている。



④敷地北側に現在建設中のトレーニングセンター。(2001年12月竣工予定)本案件を考慮し、配置の検討がされている。主に電気系ポリテク分野の第三国研修や、機器のメンテナンス・リペアーに関するトレーニング等が行われる予定である。



⑤既存EEPISの東側を通る構内道路。既存施設(D3)と新施設(D4)のサービス道路となる。



⑥2001年1月に新築されたIT棟。JICAプロ技協支援の予算にて建設され、施工はローカルコントラクターによるもの。



①新設 IT 棟コンピュータールーム：各開口部にはセキュリティグリルが設置されている。他の学科でも設置されているため、本案件でも必須と判断される。



⑤キャンティーン：今回の要請にキャンティーンも入っていたが、既存施設にスペースのゆとりがあるため除外された。



②ワークショップでの実習風景：旋盤、溶接機、グラインダー、折曲機等の機材が整備されているが、老朽化が進んでいる。



⑥ITに関する講義：インドネシアにおいてもIT化の波が押し寄せており、電気系ポリテク教育の中でもコンピュータスキルは必須のものとなりつつある。



③座学の授業風景：女性の教員も数名在職しており、また女生徒も多くなりつつある。



⑦電子Laboにての実習状況：ポリテク教育はこのようなグループによる実習に重点をおいた、教育内容となっている。



④電子工学科授業風景：実習室にて講義（座学）も行われるケースがあり、施設の稼働率が高い。



⑧Final Project Room:既存施設では、増築やパーティション等に対応しているが、スペース不足の為、床の上で作業している。